

平成24年度事業報告

1 和歌山を売り出す

(1) 観光地魅力発信

- 「わかやまフィルムコミッション」による地域と連携した映画等のロケ誘致
 - ◇ロケ実施支援 23件
 - ◇ロケ誘致活動
 - 首都圏制作会社等へ年4回程度訪問し、人的ネットワークの構築や本県の魅力をPR
 - ◇映画を活用した誘客キャンペーンへの参加
 - 若手監督の登竜門とされる「第6回田辺・弁慶映画祭」へ参加し映画関係者との交流を図った。
 - <期間> 11月2日～4日 場所：紀南文化会館大・小ホール（田辺市）>
 - フィルムコミッション全国組織「ジャパンフィルムコミッション全国ロケ地フェア2012」へ近畿ブロックとして出展しPRを行った
 - <期間> 11月24日 場所：六本木アカデミーヒルズ49階（東京都）>
- 観光キャンペーンスタッフ「きのくにフレンズ」によるPR活動の実施
 - JR西日本等主要駅でのプロモーション、JATA旅博、日本観光振興協会主催イベント、物産展等でのPR活動、メディア出演、雑誌取材でのPR活動
 - きのくにフレンズ：3名 延べ活動日数：155日
- 観光連盟ホームページの運営
 - ◇ウェブサイトの充実
 - 平成23年度に作成した「わかやま〇旅」ページ等の内容更新、充実
 - 「わかやま〇旅」ウェブサイトの新設「わかやま記紀の旅」
 - 古事記編纂1300年を契機に古事記や日本書紀（記紀）に関する県内のスポットを記紀の記載に基づき「わかやま記紀の旅」としてわかりやすくまとめ、県観光情報サイトで公開
 - <時期等> 12月～
 - <内容> ・本県に関する記紀の記載について8つの物語としてわかりやすく解説
 - ・物語に関するスポット33箇所を紹介（神社28社、碑など5箇所）
 - ・それぞれの物語に関するスポットを訪れるためのモデルコースを提示
 - <協力> 和歌山県神社庁、藤白神社・吉田昌生宮司
 - 「健康わかやまを食べに行こう！朝食メニュー」紹介ページ新設
 - 「健康わかやまを食べに行こう！朝食メニュー」認定施設等を県観光情報サイトで公開
 - <時期等> 2月～
 - <内容> ・「健康わかやまを食べに行こう！朝食メニュー認定店」の施設概要、認定メニューを紹介
 - ・平成25年3月現在、7施設掲載
（ヘルシーメニュー部門 1施設、満喫メニュー部門 6施設）
 - 「女将のいる宿」ページ新設
 - 県内の、女将のいる宿泊施設紹介ページを県観光情報サイトで公開
 - <時期等> 3月～

<内 容>・女将からのメッセージを添えて、県内宿泊施設概要を紹介
・平成25年3月現在、24施設掲載

○宿泊プラン比較サービス「旅くら」導入

閲覧者の利便性向上のため、各施設の宿泊プランの一括比較サービス「旅くら」導入
<時期等>8月～

◇わかやま紀州館サイトの充実・拡大

- 「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン」スペシャルサイトで、和歌山出身等縁のある芸能人やオリンピック・パラリンピックアスリートによる応援ページの新設やゆるキャラページを拡大するなど、内容を充実
- 必要かつ有効な情報を即時に発信できるよう、紀州館ニュースをブログ化するとともに、SNSへの自動連動配信を可能にするなど、情報発信を充実

◇twitter・LINE連動による和歌山観光情報の多角発信

- わかばんtwitter (@wakayamakanko) での観光情報発信 (H23.8開設)
<実績> フォロワー数約2,400人 ツイート数約1,093件
- わかやま紀州館twitter (@soon_wakayama) (平成22年10月開設) での観光物産情報発信
<実績> フォロワー数約3,600人 ツイート数約9,400件
- わかやま紀州館LINE (@wakayamakanko) (平成24年12月開設) での観光物産情報発信
<実績> 登録者数約500人 配信数約100件

◇県観光情報ホームページ「フォトライブラリー」への掲載 約50枚、メディア、旅行会社等に随時提供

●和歌山観光PRシンボルキャラクター「わかばん」等の活用

◇観光PRシンボルキャラクター「わかばん」による情報発信

○着ぐるみでの露出

JATA旅博、アウトドアフェスティバルなどのイベント参加、KBS京都、テレビせとうち等のメディアへの出演及びJR白浜駅での駅長など、年間を通じて活動した。

○ゆるキャラグランプリへのエントリー

インターネット投票で全国のご当地キャラクターの順位付けを行うイベントにエントリーし、露出を図った。

投票期間：9月15日～11月16日

結果：全865体中202位(和歌山県内3位)

○大手企業とのタイアップ

チョコレート菓子「ポッキー」でおなじみの江崎グリコ株式会社が発売している「ポッキー<パンダ>」とタイアップし、白浜のパンダファミリーをPRする取り組みを展開した。

- ・「ポッキー<パンダ>×わかばん」POPのスーパー(関西圏)での掲出展開
- ・Pocky Street(江崎グリコ(株)HP内のポッキー商品紹介サイト)のダウンロードコーナーで、「わかばんペーパークラフト」がダウンロード可能に
- ・ノベルティ「わかばんポッキー」を製作し、各種プロモーション時に活用

◇「パンダ」イメージプロモーション

わかやまパンダ大使 岡本玲さんによるパンダの魅力発信

- ・日本テレビ系全国ネット「アナザースカイ」放映(5月4日)

- ・わかやま国体開催決定記念イベント出演（9月9日）
- ・Beauty&Power女子会「わかやま熊野ナイト」出演（9月28日）
- ・NHK総合（関西）「ええトコ」放映（10月12日、11月9日）
- ・首都圏「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン」出演（11月21日）
- ・首都圏「ふるさと祭り」出演（1月13日）

（2）「わかやま紀州館」における和歌山県産品宣伝

首都圏の百貨店やイベント会場で、県産品の展示販売と観光PRを並行して行なうことにより、首都圏での和歌山県の認知度向上

6月1～30日	ニッコリーナ梅フェア	ニッコリーナエキュート東京
8月25～26日	麻布十番納涼まつり	麻布十番商店街
9月1日～11月4日	和歌山×熊本フェア	東洋文庫・オリエントカフェ
9月1～27日	和歌山・秋田フェア	明治座、明治座グループ飲食店各店
9月21日～11月22日	和歌山味わいselection	三浦屋各店
10月13～14日	ココ・カラ和歌山まるかじり秋の味覚フェア	ダイシン百貨店
10月27～28日	秋の立川市民まつり	立川市昭和記念公園みどりの文化ゾーン
11月8～9日	大正製薬組合即売会	大正製薬本社2号館上原記念ホール
11月23～25日	ココ・カラ和歌山首都圏イベント	有楽町駅前広場
12月1日	陸奥宗光シンポジウム	アカデミーコモンアカデミーホール
1月7～20日	コダワリタビマワリ和歌山	エキュート大宮
2月6～14日	全国ゆるキャラ&ご当地フェスタ	小田急百貨店町田店
3月9～10日	NHKふるさとの食、につぼんの食	渋谷・代々木公園内

2 和歌山へ招く

（1）戦略的首都圏対策

●観光物産等PRイベント等の実施

◇「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン2012Ver.2」の実施

○オープニングレセプション

<時期等> 11月21日 首都圏メディア及び旅行会社等260名が参加

<内容> キャンペーンサポーターズ（本県出身・ゆかりの有名人12名）による応援メッセージや、参加15市町等による観光・物産PRを実施

○集中キャンペーン

<時期> 11月21日～12月11日

<内容> ・和歌山広告トラックの運行

「和歌山という山はないけれど、和歌山しかない山はある」というキャッチフレーズのもとに本県観光スポット等を紹介、広告トラック3台を東京都内の特に人や車通りの多い箇所を重点的に運行

・銀座四丁目交差点のホットビジョンでキャンペーン告知映像を放映

・都営地下鉄全線全車両で中吊り広告を実施

乗入れ私鉄線含み都営地下鉄全線全車両で中吊り広告を実施

・旅行会社とのタイアップでの誘客宣伝キャンペーンを実施

k n t 全国店舗でチケット袋による和歌山PRを実施（25万部）

k n t 首都圏店舗（50店舗）においてXバナーを掲出

k n t 有楽町店頭で観光パンフレット等を配布（11月23日）

・和歌山パンダガールズによるキャンペーンバッグ配布

J R有楽町駅前のITOCIA前広場、k n t有楽町店頭（11月22日）

新宿駅、渋谷駅前（12月1～2日）

・認知度効果測定実施

首都圏における本県の認知度及びキャンペーン等についての効果測定を行うため、和歌山観光への意向アンケート調査を実施

●メディアを通じた認知度の向上

◇各種メディア媒体での和歌山情報の集中露出

首都圏発のテレビ、雑誌等の媒体において「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン」時期に併せ集中露出（58媒体露出）

◇メディア各社への訪問及び企画提案の実施

媒体露出件数約230件（テレビ、ラジオ、新聞、スポーツ新聞、雑誌・書籍、フリーペーパー等）

○テレビ（抜粋）

・「遠くへ行きたい」

<放送> 14局（日本テレビ、札幌テレビ、青森放送、山形放送、中京テレビ、日本海テレビジョン、広島テレビ、南海放送、福岡放送、長崎国際テレビ、北日本放送、テレビ大分、MMTミヤギテレビ、テレビ金沢）

<時期> 7月8（古座川町）・11月3日（那智勝浦町）

<内容> タレントが各地を訪れ、地元の人とふれあったり、地域の食文化を紹介する旅番組 1970年から放送されている長寿番組としても有名

・「ごごたま」

<放送> 3局ネット（千葉テレビ・テレビ神奈川・テレビ埼玉）

<時期> 11月21～23日（3日連続放送）

<内容> そろそろ和歌山に行ってみようオープニングレセプションの様や、プレスツアーで訪れた南紀白浜地域、伊都地域の首長が生出演しての観光・物産PR

・「秘湯ロマン」

<放送> テレビ朝日・BS朝日

<時期> 11月25日

<内容> 「白浜温泉および渡瀬温泉を紹介」

○新聞・雑誌等（抜粋）

・交通新聞社「旅の手帖9月号」

<時期> 8月10日発行（全国22万部）

<内容> 「親子三世代動物たちとふれあいの旅」と題して、南紀白浜アドベンチャーワールドを5ページフルカラーで特集。

・(株)水中造形センター「MarineDiving」12月号

<時期> 11月10日発行（全国12万部）

<内容> ダイビングのアフタースポットとして南紀白浜の特集と、そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーンを掲載～ダイビングだけじゃもったいない！南紀白浜おすすめアフタースポット～

・ぱど「L a l a P a d o」12月号

<時期> 12月1日発行（東京23区24万部）

<内容> 「高野山」「熊野三山」「パンダ沢山」の各テーマを取材し、「LalaPadoぱど×和歌山県」の別冊を特別に作製し、女性を中心とした読者に配布

◇プレスツアーの開催

首都圏のプレス関係者を招集し、県内の魅力あるスポットを巡る取材ツアー実施（田辺

市～白浜町) 紀南周辺のこだわりグルメ・癒し・パワースポットなどを紹介
<時期等> 10月4～5日 参加7社10名

●旅行エージェントへの売り込み

◇首都圏旅行会社担当者(企画担当・販売担当)関係強化

「和歌山県観光連盟推奨」タイアップ旅行商品としての商品造成の働きかけ

○タイアップ6社11商品

みちしるべ(k n t) そろそろ和歌山に行ってみよう南紀スペシャル(k n t) 首都圏50店舗Xバナー広告(k n t) 熊野三山・伊勢神宮(J T B) 旅の友みなべ梅体験(クラブツーリズム) 高野山(南海国際旅行) 紀州和歌山名刹参拝(J R 東日本びゅうトラベル) 新聞掲載商品(J T B、クラブツーリズム、阪急交通社) 関西・熊野三山(阪急交通社)

◇旅行会社ファミツアーの開催(南海電気鉄道と共催)

高野山・白浜・熊野三山を中心に和歌山の魅力を紹介

<時期等> 6月11～13日 参加9社11名

<備考> 地元関係者も交えた意見交換会を開催

◇法人営業担当者に対する営業活動

J T Bをはじめとした旅行会社タイアップセミナーの機会等を活用し、各社法人営業担当者に対し、法人の研修先や社員旅行先として和歌山を提案

◇旅行会社担当者(企画担当・販売担当)関係強化

○J T B 奥州支店、岩手県平泉町とタイアップし、「田辺梅林と熊野古道」旅行商品についての説明会を実施

<時期等> 1月11日 平泉町

○k n t 全国店舗でチケット袋による和歌山P Rを実施(25万部)

○旅行商品販売窓口担当者に対して、観光地やアクセスの紹介などの観光研修を実施

<時期等> 6月16日 J T B トラベルゲート新宿

○k n t 店頭にて「そろそろ和歌山に行ってみようキャンペーン2012Ver. 2」クリアファイル機能付きバックを配布並びにアンケートの実施

<時期等> 11月23日 k n t (有楽町支店)

●わかやま講座

自治体、大学、旅行会社、企業等とタイアップし、文化活動の第一線で活躍する方や歴史研究者、地産食のスペシャリストを講師として派遣、世界遺産「高野・熊野」をはじめ歴史・文化・ブランド食など知的探求心に応える講座を実施。和歌山の魅力発信と旅行商品の造成を図った。

<講座数> 35講座 <受講者> 約3,000名

◇スターツ出版×椿山荘連携講座

東京体験イベント『Ozmoll 東京体験 数寄屋造りの料亭で写経とお茶会』

<内容> 20～30代の女性をターゲットにしたコミュニティ Ozmoll(会員130万人)と連動、高野山の写経体験を通し高野山の魅力発信

<時期等> 1講座 5月10日 参加40名

<講師> 豊田眞彰氏(高野山真言宗無量寺副住職)

◇明治大学大学院連携講座

『公開講座映像資料活用による学際的アプローチの醸成プログラム』（日高川町共催）
＜内 容＞道成寺縁起の絵解きとその周辺をテーマに絵解き説法の実演と道成寺物の古典芸能の数々を映像で紹介。
＜時期等＞1講座10月10日 参加約250名
＜講 師＞小野俊成氏（道成寺住職）

◇東洋文庫・熊本県連携講座

リレーフォーラム『紀州の麒麟と肥後の鳳凰』

＜内 容＞広くアジア全域の歴史と文化に関する東洋学の専門図書館・研究所である東洋文庫において、紀州と肥後の名君に学ぶ連続講座を実施。また、三菱グループである小岩井レストラン「オリエント・カフェ」にて特産品のメニュー化と、物産展を開催。

＜時期等＞3講座 9月1日～11月4日 参加計約150名

＜講 師＞ス波義信氏（東洋文庫文庫長） 磯田道史氏（武士の家計簿著者）
寺西貞弘氏（和歌山市立博物館館長） 吉村豊雄氏（熊本大学教授）

◇東京都公園協会・六義園連携講座

六義園・東洋文庫・和歌山市連携『寺子屋六義園』

＜内 容＞国の特別名勝・大名庭園「六義園」との連携講座では、六義園作庭のモデル和歌の浦の魅力発信と六義園めぐり、観光ブース設置、パネル展を実施。

＜時期等＞期間10月1日～12月8日 来園者22万6千人 参加計約200名

＜講 師＞菊川恵三氏（和歌山大学教育学部教授）

◇秋の六義園－六義園で日本文化に楽しむ－

＜内 容＞和歌山市ゆかりの地 六義園で奏でる～万葉クラシック～

和歌山市出身ヴァイオリニストによるカルテットや箏のコラボレーション和歌山の童謡、トークショーを盛り込み展開。

＜時期等＞2公演 11月4日 参加約1,030名

＜演 奏＞寺下真理子氏（ヴァイオリン） 須山暢大氏（ヴァイオリン） 鈴木大樹氏（ヴァイオリン）
水野由紀氏（チェロ） 鎌田美穂子氏（箏）

◇六義園ガイドツアーに参加しよう！（東京大学協力）

＜時期等＞1講座 2月24日 参加約50名

＜講 師＞東京大学浅見研究室

◇文化放送タイアップ講座『和歌山てらこや講演会』

創作落語「熊野詣」と熊野曼荼羅の絵解き

＜内 容＞文化放送ラジオ媒体を活用した芸能文化講座を開催。生放送「なるほどジャパン」への出演告知PRの実施と文化放送「落語の蔵」で無料配信を実施。

＜時期等＞2講座 12月8,9日※無料配信12月末～1月31日 参加計約320名

＜講 師＞熊野亭雲助（鈴木俊朗氏・新宮市経済観光長）
今熊野比丘尼（山本殖生氏・熊野三山協議会幹事）

◇NHK文化センター東京本部（青山教室）連携講座

○『驚きの梅パワーと夏の梅ごはん』（みなべ町共催）

＜内 容＞梅機能性座学と夏を乗り切る梅料理デモンストレーション

＜時期等＞2講座 8月4日 参加約40名

＜講 師＞宇都宮洋才氏（和歌山県立医科大学准教授） みなべ町梅料理研究会

○『神仏共存の聖地 高野山の魅力』

<内 容>聖地高野山の魅力を、世界遺産の成立経緯や神仏共存の歴史から探求。

<時期等> 3講座 9月15日、9月29日、10月6日 参加計約75名

<講 師>丹生晃市氏 (丹生都比売神社宮司)

速水盛康氏 (新宮市立緑丘中学校校長、熊野学研究委員)

藪 邦彦氏 (高野山金剛峯寺宗務総長公室課長)

◇NHK文化センター横浜支社 (横浜ランドマーク教室) 連携講座

『シリーズ 日本人と自然と神～立春から元気に生きる』

<時期等> 1講座 2月2日 参加約50名

<講 師>丹生晃市氏 (丹生都比売神社宮司)

◇日本テレビ文化センター (恵比寿教室) 連携講座

『梅パワーで健康に！和歌山の梅を使った簡単レシピ』

<時期等> 1講座 11月25日 参加約10名

<講 師>根本美保氏 (料理研究家)

◇産経学園 (銀座おとな塾) 連携講座

『心のリセット&リフレッシュ 高野山の写経』

<時期等> 7講座 7月～3月の第1金曜日 参加計約150名

<講 師>豊田眞彰氏 (高野山真言宗無量寺副住職)

◇旅行会社 (クラブツーリズム) 連携講座

『クラブツーリズム文化祭 歴旅講座』(田辺市・熊野本宮観光協会協力)

<内 容>事前学習し、連動ツアーで現地研修。

第1部：お大師様の聖地・世界遺産「高野山」の楽しみ方

第2部：人はなぜ熊野で蘇るのか世界遺産「熊野三山・熊野古道」

<時期等> 2講座 9月8日 参加約100名

<講 師>辻田友紀氏 (和歌山県世界遺産マスター)

谷口佳子氏 (熊野本宮語り部の会)、熊野本宮観光協会

◇図書館 (新宿区・港区) 連携講座

○新宿区立図書館『暮らしの講座 梅の効用 梅の力』(みなべ町共催)

<時期等> 1講座 6月9日 参加約60名

<講 師>宇都宮洋才氏 (和歌山県立医科大学准教授医学博士)

○港区立図書館『梅干し博士に聞く驚異！梅パワーの秘密』(みなべ町共催)

<時期等> 1講座 6月10日 参加約25名

<講 師>宇都宮洋才氏 (和歌山県立医科大学准教授医学博士)

◇自治体等タイアップ講座

○新宿未来創造財団『新宿区ライフアップ講座』(みなべ町共催)

聞いて！食べて！元気になる和歌山県のブランド梅・南高梅を知る～知って得する梅のヒミツ！～

<時期> 2講座 8月6日 参加約65名

<講師>宇都宮洋才氏 (和歌山県立医科大学准教授) みなべ町梅料理研究会

○北区健康福祉部健康いきがい課 (みなべ町・熊野で健康ラボ共催)

『北区健康フェスティバル2012 和歌山健康セミナー』

第1部：梅干し博士に聞く梅の力

第2部：自然の力で心とカラダの健康づくり！

<時期等> 2講座 11月22日 参加約120名

<講師> 宇都宮洋才氏（和歌山県立医科大学准教授）

木下藤寿氏（和歌山健康センター保健事業部長、熊野で健康ラボ理事）

○南方熊楠記念館『南方熊楠記念館セミナー』（南方熊楠記念館共催）

<内容> 昭和天皇と南方熊楠

<時期等> 1講座 6月17日 参加約25名

<講師> 谷脇幹雄氏（南方熊楠記念館館長）

◇わかやま講座連動 旅行商品造成

○クラブツーリズムカルチャー旅行センター連携ツアー実施

『世界遺産「熊野三山・熊野古道の旅」』

<時期等> 11月11日～13日 2泊3日 参加 17名

<同行・講師> 熊野本宮語り部の会、熊野・那智ガイドの会

○NHK文化センター&日新航空サービス連携ツアー実施

『神仏習合の世界遺産「晩秋の高野山に弘法大師を訪ねる旅」』

<時期等> 11月12日～14日 2泊3日 参加 16名

<同行・講師> 丹生晃市氏（丹生都比売神社宮司）

藪 邦彦氏（高野山金剛峯寺宗務総長公室課長）

◇講座参加者データベースを活用した観光情報の提供

約2,500名×2回（8月,11月）

（2）観光センター運営

●わかやま紀州館実施事業

◇観光PR及びアンテナショップ概要

会館日数 358日（年末年始6日+臨時休業(4/1)1日 計7日）

観光来場者数 30,840人

物産購入者数 76,636人（レジ通過者）

物産売上高 7,482万円

◇講座・セミナー

開講数 35講座 受講者 約3,000人

◇旅行エージェント対策

ファミトリップの開催 1回（9社11人参加） タイアップ商品造成 6社11商品

◇マスコミ対策

各マスコミの露出実績 観光230件 物産68件